

様式15 評価結果報告書

所属班	理学療法 ・ 作業療法 ・ 言語聴覚療法
対象校	岐阜保健大学 理学療法学科
評価結果	適合

<b>基準Ⅰ 教育理念</b>	
<p>【評価項目に対する評価結果及びその理由】</p> <p>教育理念は、提出資料・ホームページ判定基準を満たしていることを確認した。実効性の検証と組織の整備は、ホームページに公開している「内部質保証ポリシー」に基づき準備段階であることを現地にて確認した。</p> <p>【優れた点】</p> <p>特になし</p> <p>【改善を要する点】</p> <p>自己点検評価報告書の課題で記述した実効性の評価と組織編制を進めることが望まれる。</p>	

<b>基準Ⅱ 教員</b>	
<p>【評価項目に対する評価結果及びその理由】</p> <p>学科・専攻の長では、教育経験が10年を満たしていないことを確認した。教員要件は、現地にて様式2-1の差し替えがあり、判定基準内容を確認した。必要な教育・研修の修了が専任教員の全員には至っていないことを確認した。教員数・教員配置では、「担当科目」の時間数と「1週間あたりの担当時間数」のカウントの疑義について、「担当科目」の時間数に誤りがあったとのことで現地にて差し替えがあり、判定基準内容を満たしていることを確認した。専任教員の一部で臨床実習指導者講習会を修了していないことを確認した。</p> <p>専門科目と専門性に関しては、一部の教員で担当科目関連業績が未記入あり、差し替え資料を基に判定基準①②に該当し、③については該当しないことを確認した。</p> <p>【優れた点】</p> <p>特になし</p> <p>【改善を要する点】</p> <p>教員要件、教員数・教員配置、および専門科目と専門性の項目については、適宜改善が望まれる。</p>	

<b>基準Ⅲ 教育</b>	
<p>【評価項目に対する評価結果及びその理由】</p> <p>単位、教育課程の編成は、現状適切に運用できている。現地にて令和6年度リハビリテーション学部教務委員会議事録が追加資料として提出され、その実態の一部について確認した。</p> <p>教育方法では、特色ある教育プログラムに関する追加資料を基に、画像診断コース、スポーツトレーナーコースシラバスの実際について確認した。</p> <p>単位認定・卒業判定の項目では、サプリメントは今後の課題であることを確認した。</p> <p>教育の質・学修成果については、学業達成率は67.9%で、教員の負担増などの課題となっている。</p> <p>教室・実習室・教育設備・教育備品は、現地にて整備状況を確認した。</p> <p>【優れた点】</p> <p>学年をまたぐ縦割りのグループ学習の導入は評価できる。</p>	

**【改善を要する点】**

備品は、一部で更新の必要な機材もあり、早期に点検・補修・補填などの対応を要する。

**基準Ⅳ 臨床実習****【評価項目に対する評価結果及びその理由】**

構成・時間数の項目では、実習後OSCEについて、実施していないことを現地にて確認した。実習計画の立案については関係教員が配慮していることを確認した。

施設関連では、主たる実習施設については模索中であることを確認した。基礎実習、地域実習で「学内」との記載については、COVID-19の影響による対応であったことを確認した。

指導者については、認定・専門療法士は12.5%で基準最上位を満たしていないことを確認した。

実習指導者の「免許取得後年数」・「実習指導者講習会修了番号」の空欄または不明については、実習指導者の退職等により対応困難であったことを現地にて確認した。

指導体制では、概ね問題となる箇所はなく、追加資料として臨床実習経験記録報告書、臨床実習評価報告書・出席表が提出された。

教育方法は、実習について内容の確認をした。実習施設先では、ほぼCCSが採用されている事を確認した。

**【優れた点】**

特になし

**【改善を要する点】**

実習後OSCEの早期実施が求められる。

実習指導者の基本情報入手に効果的対策が求められる。

**基準Ⅴ 学生****【評価項目に対する評価結果及びその理由】**

入学前のe-ラーニング学習未終了者については、入学後のアドバイザー教員への振り分けに配慮し、その後情報の共有化等の対応を実施していることを確認した。

TA制度については今後の課題として検討中であることを確認した。

キャリア支援について、卒業後の支援体制については今後の課題としていることを確認した。

学生サービスとハラスメントについては、提出資料と現場の内容を照合し確認した。

**【優れた点】**

特になし

**【改善を要する点】**

「学修支援」、「キャリア支援」について充実を図られたい。

**基準Ⅵ 管理・財務****【評価項目に対する評価結果及びその理由】**

管理運営および財務会計に関しては、特段問題なく運用していることを確認した。

**【優れた点】**

特になし

**【改善を要する点】**

特になし

基準Ⅶ 内部質保証

【評価項目に対する評価結果及びその理由】

自己点検評価は、提出書類にて内容確認した。PDCAの確立と実効性については、リハビリテーション学部・理学療法学科におけるPDCAサイクル概念図、令和6年度リハビリテーション学部会議事録、令和6年度理学療法学科議事録を基に確認した。

情報公表は、提出資料・ホームページにて内容を確認した。

【優れた点】

各種会議体を通じてPDCAを図っていることは評価できる。

【改善を要する点】

特になし